

## 平成 29 年度 1 学期始業式あいさつ

おはようございます。今日から新しい学年がスタートします。皆さん一人一人が、大きな期待と決意を持って、登校してくれたと思います。

3 年生はいよいよ仕上げです。卒業と進路決定に向けた大切な 1 年です。実りある年となるように努力してください。2 年生は高南での生活に慣れてきたと思います。担任をしていた時に感じたのは、実は 2 年生という 1 年が一番差がでる、大切な 1 年であるということです。そのことを心にとめて生活してください。

さて、年度の初めに皆さんに話したいのは、「時間を大切にしたい」ということと、「物の本質をしっかりと見ることができているか」ということの 2 つのことです。

1 つ目の「時間を大切に」についての話です。

アメリカの有名な経済学者であるドラッカーを知っていますか。「もし高校野球のマネージャーがドラッカーのマネジメントを読んだら」という映画の題名に名前が出ていました。彼は、セルフマネジメント（自己管理）の本質は、タイムマネジメント、すなわち「時間の管理」であると言っています。

前任校の先生が生徒に対して「成績のよい人も悪い人も、お金をたくさん持っている人もいない人も、1 日が 24 時間であるということは、みんな平等である。その平等な 24 時間をどのように使うかが大切なんだ」とよく話していました。皆さんは、時間の管理がしっかりできていますか。

35 回生で国公立大学に合格した 5 名について調べてみました。すべて部活動に入っていました。文武両道を実現してくれたのです。その人たちは、きっとタイムマネジメントをしっかりとやりきったから合格できたと思います。部活動で疲れたからといって勉強しないのではなく、夕食や休憩をはさんだ後、何時から何時までは勉強するという時間の管理ができたからこそ、合格できたのではないかと思います。

皆さん、「自分が何に時間を費やしているのか」「無駄な時間を過ごしていないか」一度考えてください。そして、「将来なりたい自分になるために何をしたらよいのか」、しっかりと考え、実行してください。

2 つ目の「物をしっかりと見ることができているか」についての話です。

正しく物を見ることは、簡単でしょうか。「百聞は一見にしかず」と言いますが、目の前で起こっていることは、必ず正しくとらえることができるでしょうか。最近読んだ本の中に、こんな話がありました。

「ある日曜日の朝の地下鉄、乗客は黙って座っていた。新聞を読む人、物思いにふける人、目を閉じて休んでいる人。車内は静かで平和そのものだった。

そこに突然、一人の男性が子どもたちを連れて乗り込んできた。子どもたちは大声で騒ぎ出し、車内の平穏は一瞬にして破れた。男性は私の隣に座り、目を閉じていた。この状況に全く気づいていないようだ。…迷惑この上ない子どもたちの振る舞いに、男性は何もしようとしな。私は、自分の子どもたちの傍若無人ぶりを放っておき、親とし

て何の責任もとろうとしない彼の態度が信じられなかった。ほかの乗客たちもイライラしているようだった。私は、精一杯穏やかに『お子さんたちが迷惑になっていますよ。少しおとなしくさせていただけませんか』と忠告した。

男性は、目を開け、子どもたちの行動に初めて気づいたかのような表情を浮かべ、そして、言った。『ああ、そうですね。どうにかしないとイケませんね。…病院の帰りなんです。1時間ほど前、あの子たちの母親が亡くなって…これからどうしていいのか。…あの子たちも動揺しているんでしょう』

その瞬間の私の気持ちを想像できるだろうか。子どもたちの様子が全く違って見えたのだ。違って見えたから、考えも、感情も、行動も変化した。私の苛立ちは消えてなくなり、態度や行動を無理に抑える必要はなくなった。私は男性の苦しみに共感し、同情と哀れみの感情がとめどなく溢れ出た。『奥様が亡くなられたとは…お気の毒に。さしつかえなければ話していただけますか。何か私にできることはありませんか』すべてが一瞬にして変わったのである。

この話を皆さんはどう感じましたか。私は、この話を読んで、考えてしまいました。私も目の前での光景を、自分の勝手な想像、基準で判断していることがあったのを思い出したからです。

何度も注意しているのに遅刻をしてくる生徒を叱りました。でも担任の先生から話を聞いてみると、家庭の事情から家事をして、妹や弟の面倒を見てから登校していた生徒でした。また、特別指導を繰り返す生徒に厳しい指導をしたことがありました。でも何回目かの指導の時、両親の離婚問題で家庭が不安定で、居場所がどこにもないと話してくれました。

皆さんも、新しいクラスとなり、元気な人、おとなしい人など様々な人がいると思いますが、みんな少なからず悩みを持って生きています。黙って見て欲しいという人もいるかもしれませんが、人は誰かに認められたい、仲間に入りたいと思っている人がほとんどだと思います。クラスメイトで、気になる人がいるなら、勇気を持って、一声かけてください。困っている人がいれば、声をかけてあげることができる。そんな高砂南高校の生徒になって欲しいと思います。

いよいよ新しい年の始まりです。午後には入学式があり、新入生が加わります。上級生として、新入生をリードして、さらに良い伝統を作っていきましょう。皆さんにとって、高砂南高校にとって、素晴らしい年になることを祈っています。